

本書の使用にあたって

1) 本書の構成

第I部「関節リウマチ診療における超音波検査」

機器設定の方法や所見の定義など、各部位の撮像を行う前に知っておくべき基礎知識を解説しています。

第II部「超音波検査で観察が推奨される部位」

まずははじめに各部位の解剖や撮像時の肢位について概説した後に、正常像と病的画像を用いて撮像の方法と読影のポイントを具体的に解説しています。

2) 第II部の紙面構成

正常像

① 関節エコー画像

左側はBモードの正常画像、右側はそのシェーマです。

なお、シェーマでは下記のように色分けをしています。

- 青色：骨の輪郭
- 緑色：軟部組織（筋肉や腱など）
- 黄色：滑膜肥厚および滑液貯留

② プローブをあてる位置

プローブをあてる位置を、実際の写真とイラストで示しています。

なお、イラスト中の●の方向が関節エコー画像の右側になっています。

③ 正常像の解説

撮像の方法や正常像の所見を解説しています。

病的画像

④, ⑤ 関節エコー画像

④はBモード、⑤はパワードプラの画像です。

シェーマの色分けは正常画像と同様です。

⑥ 病的画像の解説

病的画像の所見を解説しています。

memo

⑦ メモ欄

撮像にあたっての注意点やコツを解説しています。

[1] 手関節（背側、橈側）

正常像

1 橈関節（背側／縦断像）

2 プローブをあてる位置

3 病的画像

4 Bモード 槌骨手根関節滑膜肥厚・滑液貯留（背側／縦断像）

5 パワードプラ 槌骨手根関節滑膜炎（背側／縦断像）

6 Bモードでは、中等度の滑膜肥厚および滑液貯留。
パワードプラでは、肥厚した滑膜内部に高度の血流を認める。

7 memo リスター結節とは？
橈骨遠位端背側の隆起している部分のこと。橈骨を観察する際のよいランドマークとなる（32ページ、解剖図参照）。

II

手 指

手関節

肘関節

肩関節

腰椎

尾関節

膝関節

足関節

足